

市長タウンミーティング概要（門沢橋コミュニティセンター）

令和5年2月19日（日） 16:00～17:00

○意見交換

- Q. 門沢橋は第一次産業を発展させていくという話を聞いた。市長の考えを伺う。
- A. 農業支援センターを立ち上げ、農業を始めたい人への育成や、農業支援センター経由で農地を借り上げ、農業を始めたい人に貸すようにする。
南部の物流倉庫の増加は市としては農用地にしない限り止められないのが実情。農家に依頼しても個人の所有であり強制はできない。市として開発する地域と残す農地を踏まえ、農業支援センターや若い農業経営者と話し合いながら活性化を考えていきたい。
- Q. 門沢橋には、病院、銀行、郵便局、特にスーパーがなく生活が不便。このことについて重点を置きながら今後のまちづくりを行ってほしい。また、門沢橋保育園が無くなる計画あると聞いたが事実か。
- A. 食品移動販売は、イオンやローゼンなどの民間企業が実施しており、門沢橋まで範囲を^{ひろ}拡げることができないか所管課にて確認しているところ。
病院については、高齢者の移動手段を検討し、できる限りの支援策を市で協議したい。
門沢橋保育園については、園児数の増減といった今後の動向を見極めて判断していくが、原則令和9年度末で廃園の目途を立てている。
- Q. 門沢橋は、物流倉庫が多く、面積を広く使っているため、住みよいまちづくりを進めているとは言えない。海老名駅周辺の開発だけではなく、南部地域にも道の駅を造るなど、最低限生活できるよう力を入れてほしい。
- A. 市で農地に倉庫を建てることへの制限は、農用地以外法律上不可能である。
また、市が道の駅を作ることは、農協の協力がないと難しい。本格的な道の駅は駐車場などの相当な面積が必要。既に農協の販路が整っていることから、道の駅への需要は少ないと考える。
南部の開発は駅を中心に発展させていきたい。

Q. 食品移動販売について、門沢橋まで範囲を拡げてほしい。

A. 食品移動販売は、イオンとローゼンが実施しており、門沢橋まで範囲を拡げることができないか所管課にて確認している。ぬくもり号とコミュニティバスを一体化した（仮称）YOU BUSを秋頃走らせたいと検討している。

以上